

学びの 広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会



- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ

「おらほの学校応援し隊」活動紹介③

地域人材は宝の山～綴子小学校～

綴子小学校では、今年度も地域のボランティアによる外部講師やお手伝いの方が、「学校応援し隊」として活動されています。

4月と5月は、交通安全教室の見守り、正課クラブの指導、絵本の読み聞かせを行いました。

5月16日に1・2年生を対象に行われた第1回目の読み聞かせ会では、2人のボランティアが各教室に別れ、それぞれ2冊の絵本を笑顔たっぷり、情緒豊かに読み聞かせしました。

児童は目を輝かせながら聞き入り、お話の世界を

楽しみました。とても気持ちの良い、朝のスタートになりました。



▲読み聞かせをするボランティア

仲間とともに学ぶ喜び

～平成25年度高齢者大学入学式～

合川ことぶき大学を皮切りに、高鷹大学、阿仁生き生き大学、森吉大学と、今年度の各地区高齢者大学が開講しました。

4月25日行われた合川ことぶき大学入学式では18人の新生を迎え、関源一学長(合川公民館長)が、学び続ける喜びの発見、仲間づくりなど開学の趣旨に触れ「実りある活動でノーベル賞を目指すような夢を抱き、健康に留意して頑張ってください」と式辞を述べました。

また、新生を代表して伊島隆さん(李岱)が「学

び続ける喜びの発見と仲間づくりに努めます」と誓いの言葉を述べ、学習への決意を新たにしました。



▲合川ことぶき大学入学式

わくわく楽しい体験をしよう!

～放課後子ども教室「いきいきタイム」～

「いきいきタイム」は、地域のボランティアの協力のもと、体験活動を中心に大勢で遊んで学ぶことにより、子どもたちの豊かな人間形成を目指して運営されています。主に児童クラブや児童館と同じ場所で、平日の放課後に週1回程度開催されています。

5月8日に七日市基幹集落センターで行われた「七日市いきいきタイム」では、木片を利用し、母の日のプレゼント作りに挑戦しました。

子どもたちは、木片にさまざまな色や形のビーズなどをはり付けた後ひもを通し、心のこもったアク

セサリーを完成させました。



▲デザインを考え、アクセサリー作り

前田公民館定期講座受講生募集
開場 前田公民館 ☎84・8770

■筆ペン講座

美しい文字で気持ちを伝えてみませんか。

開催日 6月～10月 第4金曜日
時間 午前10時～午前12時
講師 河井千代子氏
定員 15人

現代詩を体験してみませんか

開場 生涯学習課 ☎62・6618

来年開催される第29回国民文化祭あきた2014・現代詩フェスティバルのプレイベント「北の風土・詩作の旅」の小径」が行われます。北秋の杜公園周辺や浜辺の歌音楽館などを巡りながら、自作詩を朗読します。初心者も大歓迎です。

日時 6月9日(日)

午前11時30分から午後4時30分

集合場所 市文化会館横駐車場

集合時間 午前11時30分

定員 20人(先着順) 参加費 無料

昼食代 600円程度

主催 秋田県現代詩人協会

申込期限 6月4日(火)まで



市内を花でいっぱいに！
花いっぱい運動推進協議会

今年も花の苗の販売を行います。

個人や団体、地域の皆さんで市内を花いっぱいにしましょう。

販売場所

さかえフラワーセンター(北秋田市栄地内)・ザ・ビッグたかのす店の道路をはさんだ北側

種類と価格

▽マリーゴールド
(黄/オレンジ) ……30円
▽サルビア(赤) ……40円

事前申込み期間

6月10日(月)～16日(日)

販売日時

▽事前申込みした方
6月29日(土)
午前5時30分～午前9時
▽申込みをしないで購入する方
6月30日(日)

午前5時30分～午前9時
※苗を入れるダンボールや箱等は各自でご用意ください

※予定数量に達した時点で販売を終了させていただきます

開場 さかえフラワーセンター内(成田和子) ☎62・1386

さかえフラワーセンター内(成田和子) ☎62・1386



ふるさとの文化財

北秋田市指定有形文化財

(古文書)

○鷹巣町御竿萬日記

所在地 花園町15-1

管理者 北秋田市教育委員会

鷹巣村の肝煎斎藤田代兵衛(？)が1733年(1713年)8月16日(正徳3年)が書いた日記です。日検地のため検地役員が来村した際、麻生村から戸崎藤兵衛、館岡武兵衛、金宇平治の3人が、8月19日太田新田村から石井徳右衛門らが立ち会い報告した内容など、1ヶ月間にわたる村の打直検地の経過や様子、検地時の各家の持高が記録されています。

野外作業の月日、場所、実績、役人の動向、村人の行動、宿泊所における接待ぶり、その他大館から根本治左衛門が勘解由の口上を伝えるため村に来たこと、檜山多賀谷氏等の検地役人に対する付け届け(お礼として贈り物をする)などが詳細に記されています。

また、検地役人に対する接待の記録から、当時の生活や芸能の一端を知ることができるなど興味深い資料です。

鷹巣町御竿萬日記



▲鷹巣町御竿萬日記

◇検地(けんち)

農民の田畑や屋敷を竿や縄を使って測量し、段別(広さ)や石高(米の取れ高)、土地の豊かさ(等級)、所有者などを定める土地の基本調査です。それらは検地帳に記録され、農民は年貢を負担しました。米がたくさん収穫できる農地は上、貧弱な土地は下の下などと分類され、幕府が確かな収入を得るために実施された政策でした。

勘解由使(かげゆし)の略で、平安時代の初めから国司(国の役人)などが交替する時、後任者から前任者に交付する文書を審査した役職です。

▽平成元年10月1日指定文化財
▽資料『鷹巣町の文化財』『鷹巣町史』『鷹巣郷土誌』『鷹巣町史別巻資料編2』『総合的把握モデル事業』調査ほか
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二